

線状降水帯研究会プログラム

2024年3月27日

東海大学熊本阿蘇くまもと臨空キャンパス(1号館 1205 教室)

第1部:九州での降水とその影響(座長:内田 理)

[1]: 線状降水帯に関する気象情報

永田和也 (熊本地方気象台) 15分

[2]: 長崎大学における降水観測の概要と結果

瀬戸心太・大島侑馬 (長崎大学)、正木岳志 (RESTEC)、久保田拓志 (JAXA) 20分

[3]: 衛星による豪雨域観測 -2022年7月8日九州地方事例-

直木和弘・宇井啓人・白水元・中島孝 (東海大学) 15分

[4]: 球磨川上流域の降雨による斜面崩壊危険度評価事例

白水元・関島佑斗・奥村柊兵・松井奨 (東海大学) 20分

第2部:水蒸気/降水観測と降水システム(座長:中島 孝)

[5]: 静止気象衛星から捉えた夏季の豪雨事例における海上水蒸気の立体構造

岩渕 弘信 (東北大学) 15分

[6]: GPM DPR 観測による線状降水帯データベースの構築と解析

横山千恵・久保田拓志 (JAXA/EORC) 20分

[7]: 線状降水帯集中観測として熊本で実施している観測データを用いた降水システムの解析と GPM 衛星プロダクト評価

辻 宏樹、正木 岳志、東上床 智彦 (RESTEC)、久保田 拓志 (JAXA/EORC) 20分

[8]: マイクロレインレーダーを用いた雲微物理スキームの検証

幾田泰醇 (JMA/MRI) 20分

総合議論